

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和4年 5月 1日

事業所名 そらふねfunfunクラブ 保護者等数(児童数) 7人(8人) 回収数 6人 割合 85

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	6				広々している	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	5			1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3				3 白い室内で清潔感がある	保護者様に活動の様子を伝える際に口頭に加え視覚でも分かりやすいように伝達すよう心がけます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			1		空気清浄機での次亜塩素酸霧に加え定期的な換気など(CO2センサーで管理)今後も清潔な空間保持をまいります
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	6					個々の強みを生かした療育プログラムを提供してまいります
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6				在宅での関わり方を聞きました	できた！を大事に自己肯定感が高まるように支援してまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	5	1				
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			3	3		コロナ終息後の検討課題としています
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	5					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	5	1				
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	1	1	1	3	コロナ禍なので仕方ないと思う	コロナ終息後にワークショップの開催を予定しています
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5	1			送迎時に様子を聞かせてもらっています	必要に応じてメールなども利用しながら伝えていきます
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	4	1	1			コロナ終息後には対面での面談回数を増やしてまいります
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている			5	1		コロナ終息後にワークショップの開催や懇親会の場など提供したいと考えています
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	6					電話や書面に加え希望される方にはメールやSNSでのやりとりも行ってまいります
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	5			1			

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	2	1		3	療育予定のカレンダーをもっています	今後は、ホームページの充実にも力を入れてまいります
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	4			2		情報の管理には今後も細心の注意を払います
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	1	1		4		書面での通達のほか、施設内にファイリング資料や掲示など行っております
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている		1		5		今年度は9月ごろに避難訓練を実施予定です
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	6					今後も楽しい時間を提供できるよう努力いたします
	23 事業所の支援に満足している	6				急な利用にも対応してくれました	今後もスタッフ一同安心安全な施設運営に努めてまいります

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年 5月 1日

事業所名 そらふねfunfunクラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		広々とした空間をつくり、密を防ぐよう心がけています	法令を遵守したスペースを確保しているが密を防ぐため活動は小集団(5名以内)で行っていく
	2 職員の配置数は適切である	○		経験豊かなスタッフを人員基準以上に配置するよう心がけています	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		テレビ等を壁面設置 玩具なども壁際に寄せることで空間を確保し段差解消につなげている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		スポーツマットを敷いている 次亜塩素酸や空気清浄機及びCO2モニターで換気時間を管理しています	営業終了後の清掃及びアルコール消毒は今後も継続していく
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期会議と空き時間を利用して伝達している	今後、より高い目標を設定し職員一丸となって取り組んでいきます
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームペ時及び書面によるお知らせと施設内に掲示するなどしている	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、必要に応じて検討していきます
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		必要に応じてZOOM研修など積極的に参加	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			利用に際しては見学、体験等行い保護者面談にてニーズを把握した上で計画作成を行っています
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		スモールステップを大切にしながら自己肯定感が高まるような支援を心掛けています	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			必要に応じてアプローチ方法を変えていくなど工夫する
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ間で意見を出し合いプログラムを作っています	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月単位でプログラムを変えています	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別療育で得た力を集団内で活用できるよう心がけています	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		口頭又は文書にて確認	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		気づいた点は必ずメモに残し全スタッフが確認している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の小さな気づきを大切にしている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		日誌や送迎時など、日々のやり取りを大切にし適宜保護者様と連絡を取り合っている	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者又は児童発達管理責任者が対応する	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて保健所や市役所担当窓口などへの連絡を行っている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		該当児なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		該当児なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の要望に応じて情報の共有やミーティングなどを行っています	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の要望に応じて情報の共有やミーティングなどを行っています	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて担当ケースワーカーや相談支援専門員に話を聞いている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		コロナ終息後に検討予定
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			必要に応じて積極的に参加していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		メールやLINEを利用したり電話や日誌及び送迎時に情報を共有している	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		コロナ終息後にはワークショップなどの開催も検討していきます
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		丁寧に分かりやすい説明を心掛けています	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		難しい表現を避け分かりやすい説明を心掛けています	今後も、保護者様の気持ちに寄り添いながら支援内容に沿った療育プログラムを提供してまいります

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		電話や日誌等で随時受け付けています	今後はSNSなども活用する予定
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ終息後に保護者会を実施予定
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		当日中に必ず何らかの対応をしている	今後はSNSなども活用する予定
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページへの掲載及び必要に応じて文書によるお知らせや活動中の写真等を渡しています	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵のついた書庫で保管	今後も情報管理を徹底する
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		口頭や視覚的な指示を行っています	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	近隣住民との良好な関係を保つため周辺の掃除や挨拶等を行っています	コロナ終息後に検討予定
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		施設内にファイリングしていつでも閲覧可能	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			今年度は令和4年9月に実施予定
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者様に適宜確認しています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様の情報をもとに対応している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		日々の気づきを大切に必要に応じて作成しスタッフ間で共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年2回研修を行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			現在、該当児童はいないが、今後も身体拘束廃止に向けての取り組みや研修を行っていく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和4年 5月 1日

事業所名 そらふねfunfunクラブ

保護者等数(児童数) 10(12) 回収数 7 割合 70 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7				のびのび過ごせる	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7				先生が変わらないので ありがたい	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		1		今後も安全に過ごせる空間を提供してまいります
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	7					今後も成長の一助となるよう 目標に向かって支援を行って まいります
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	6	1			農園や外遊びが増えるとあ りがたい	農園体験に加え運動療法やレ ゴセラピーなどを実施してまい ります
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			1	3	3	コロナ終息後の検討課題とし て交流方法などを考えていま す
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	1			電話で連絡しています	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1	1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				2	5	コロナ終息後には懇親会の 場を設けていきたいと考えて います
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7					
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	1			1	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1			お便りをもらっています 行事予定が見やすい	ホームページの充実を図って まいります
14 個人情報に十分注意しているか	6				1	情報管理の徹底を継続してい きます	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2	1			4	ホームページへの掲載や施設 内の提示を増やしてまいりま す
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3				4	今年度は9月に予定していま す
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	7				農園で収穫するの楽しみに しています	これからも楽しく過ごせる場を 提供してまいります
	18 事業所の支援に満足しているか	7				ありがとうございます	今後もスタッフ一同安心安全な 施設運営に努めてまいります

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年 5月 1日

事業所名 そらふねfunfunクラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		広い空間を心掛け密を防ぐよう配慮しています	法令順守したスペースを確保しているが今後はウィズコロナに対応するため小集団での活動を行っていきます
	2	職員の配置数は適切である	○		人員配置基準以上の配置をしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		テレビ等を壁面設置 玩具なども壁際に寄せることで段差解消につなげている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期会議と空き時間を利用して伝達している。	今後、より高い目標を掲げ職員一同取り組んでいきます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページ及び書面によるお知らせや施設内の掲示など行っている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		社内で話し合いを続け必要に応じて導入を検討する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修等に係る経費等の負担やシフト調整などを行っています	ZOOMでの参加可能なものに関しては必要に応じて積極的に参加いたします
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用に際しては見学、体験等を行い保護者面談にてニーズを把握した上で計画作成を行っています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ間で意見を出し合いプログラムを作っています	楽しみながら取り組める内容を今後も心掛けていきます
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月単位でプログラムを変えています	多種多様な取り組みが出来るよう今後も努力していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日や長期休暇中は、密にならないよう小集団に分けて支援を行っています	コロナ終息後には課外活動なども増やしていきたいと考えています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別療育で得た力を集団内で活用できるよう心がけています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		口頭又は文書等によって確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		気づいた点をメモに残し職員間で共有している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		小さな気づきを大切にしています	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリング月以外でも必要に応じて保護者様と話し合う機会を設けています	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		電話での聞き取り調査時も管理者又は児童発達支援管理責任者が常に対応している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校とのメール等のやり取り及び保護者から情報収集を行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		当該事業所及び家族様、相談支援事業所などからも必要に応じて情報を共有している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		相談支援事業所や家族様の意向があればその都度対処しています	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナ終息後の検討課題と考えている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		必要に応じて積極的に参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		随時、相談にのれるよう日誌などを利用し必要に応じて電話または訪問を行っている	今後、電話等での相談に加え希望される場合はLINEやSNSの活用を考えている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		コロナ終息後にワークショップの開催等を検討	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		電話や日誌などで随時受け付けています	今後はSNSを活用していく予定
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ終息後に保護者会を実施予定
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談苦情があった場合は必ず当日中に何らの連絡を行うようにしています	今後はSNSも活用していく予定
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページへの掲載や文書によるお知らせをしています また、活動中の写真なども提供しています	
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵のついた書庫にて保管	情報の管理には今後も気をつけてまいります
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードなど視覚的に認識しやすいものを使っています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	近隣住民との良好な関係を築くため周辺の清掃など行っています	コロナ終息後の検討課題と考えている

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		施設内にファイリングしていつでも閲覧可能です	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			今年度は令和4年9月に避難訓練を予定
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に2回虐待防止に関する研修機会を設けている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		多面的なアプローチで児童に関わっていくことで身体拘束廃止につなげている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの意向により実施(おやつなど)	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		日々の気づきを大切にしています	休んでるスタッフに対しても情報共有できるようLINEなども活用しています